

令和4年10月1日発行 第6号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115 北葛飾郡松伏町上赤岩 711

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

TEL 992-0051

発行責任者 校長 渡邊 康弘



復活 体育祭



校長 渡邊 康弘

8月に新学期が始まり、残暑厳しい日が続いているかと思えば、週末になると台風がやってくる9月でした。新人体育大会では多くの部活動で県大会出場を決め、また、発明創意工夫展発表の部でも県大会出場となりました。生徒が様々な場面でよさを発揮して活躍する様子から、日ごろの学校生活でも明るく大きな声であいさつができ、自分に自信を持ち、元気で楽しく過ごしている雰囲気を感じます。

しかし、依然としてコロナ禍であり、学校における働き方改革のもと、全国的には学校行事が縮小傾向にあります。しかし、本校では昨年度の学年種目を削減して午前中を中心とした体育祭から、学年種目を復活し、午後にも種目を入れて競技を行うものとなりました。また、保護者等の参観にも同居の家族とし、人数制限を設けませんでした。週明けの10月4日(月)の健康状況は良好で、体調不良者の増加はありません。

1年生に「体育祭どうでしたか」と聞いてみると「とても楽しかった」「大縄など練習はきつかったけれど充実感があった」「クラスのまとまりを感じた」などの返答でした。来年度はさらに自分の殻を破り活躍してくれることでしょう。

少し話が変わって、10月から3年生全員を対象として、昼休みと放課後に校長個人面接をします。入試対策だけでなく、これから社会に出ていくにおいて自分をどう表現することが出来るのかを練習してもらいます。自分のよさをしっかりアピールしてください。「お兄ちゃん」「チャリンコで」の返答ではだめですね。その面接の中で、「中学校時代の一番の思い出は何ですか」と聞くと「体育祭」「しらさぎ祭」「修学旅行」をあげる生徒がほとんどです。

学校においては学習面での充実が第一です。本校では松伏町教育委員会の委嘱をうけて、来年度に研究発表予定のタブレットを活用した授業の工夫改善に取り組んでいるところです。一方、生徒が楽しみにしている、一生思い出に残る行事は時間の許す限り、充実したものにしていく必要があると考えます。部活動などを含めた学校の改革には保護者・地域の皆様のご理解とご協力が必要になります。今後も課題となる情報を発信していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。